

少人数教育の充実に向けた取組

【県南教育事務所】

学 校 名	矢吹町立矢吹中学校
学年・教科等	第3学年・英語科
少人数指導のよさや教員の特性等を生かした習熟度別学習の実践	
<p>1 加配教員の活用方針 本校では、第2、第3学年で少人数指導を選択し30人程度学級で加配される2名の加配教員を教科の特質等に応じて活用を図り、個に応じたきめ細かな指導に取り組んでいる。</p> <p>2 英語科における加配教員の活用状況 第3学年176名、5学級(1学級34名～36名)においては、1名の加配教員を活用し、2学級を3コースに分け、習熟度別学習を通年で実施している。なお、残った1学級は1学級を2コースに分け実施している。</p> <p>(1) 学習コースの内容 学習コースは、Aコース(基礎)、Bコース(標準)、Cコース(標準・発展)の3コースを設定し、生徒や保護者には次のように説明しコース選択の手がかりとした。</p> <ul style="list-style-type: none">・ Aコース；既習内容を丁寧に復習し進め、学習するコース・ Bコース；既習内容を復習しながら、新しく学習した内容も繰り返し学習するコース・ Cコース；新しく学習した内容を繰り返し確かめたり、活用の場面を考えたり長文読解に挑戦したりしながら学習するコース <p>(2) 学習コースの選択や編成等 学習コースの選択や編成、担当教員の配置については、次の点に留意し進めている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年度初めに生徒と保護者に対し、各コースの内容、学習方法について説明し希望をとった。・ 生徒と保護者の希望を重視しつつ、生徒の学習状況に配慮し、各学習コースに合ったコースを選択させ、学習コースの編成を行っている。・ 学習コースの変更については、単元や定期テストなど学習のまとまりを考え、生徒の意見を反映しコース変更を行っている。実際においては、コース変更を希望する生徒はなかった。・ 学習コースの担当教員の配置については、生徒指導上の観点重視し、教員の持ち味や特性等を十分に考慮し、担当教員が力を十分に発揮できるようにした。 <p>3 成果と課題 各学習コースの成果と課題は次のとおりである。</p> <p>(1) Aコース(基礎)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 英語に対する苦手意識の強い生徒がほとんどであったが、次第に間違いを気にせず発表できる生徒が増え、授業に集中して取り組めるようになった。定期テストの結果にもその成果が顕著に表れるようになった。● 聞く力や基本的な学習内容の理解を図る授業展開を重視し実施しているため、長文読解や文型指導などについては、今後、【ICTを活用した学習】 (Aコースの授業) <p>(2) Bコース(標準)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 1学級24名程度であり、学力中位程度の学習集団であるため、学習のねらいや教材選定が容易になり、基礎的な学習内容の定着や個に応じた指導の時間が確保でき、学習効果が高まった。また、発表する生徒が増え、授業に集中して取り組めるようになった。 <p>(3) Cコース(標準・発展)</p> <ul style="list-style-type: none">○ 英語に興味・関心の高い生徒が多いことから、発展的な学習(長文の読解力を高める教材の使用など)が容易にでき、学習効果を高めることができた。少人数での学習を行うことができ、個別に指導する機会や時間を十分に確保できるようになった。	



【ICTを活用した学習】
(Aコースの授業)